

北九州市立思永中学校温水プールに関する提案概要

審査項目		スピナ・シンコースポーツ共同事業体	九州医療スポーツA C E 共同事業体	西日本スイミングクラブ有限会社
1 指定管理者としての適性について		（１） 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 当事業体は、「まちとひとを思いやり、学校水泳・スポーツ・健康増進の拠点として永くあり続け、新たな公共施設活用モデルの中心に」というコンセプトを掲げています。施設の設置目的である「学校水泳授業」と「市民のスポーツ振興および健康増進」を確実に実現・達成することをミッションとしています。教育現場の一部でありながら、市民にも開かれた学びと交流の拠点として、安全・安心な運営を第一に、教職員の負担軽減や地域との連携にも貢献します。	（１） 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 ■理念：ZERO-100 プロジェクト × エンタメ型市民プール～0 歳から100 歳まで、誰もが主役になれるプール～→健康・教育・地域交流の拠点化 ■基本方針：関わる全ての人にとって価値ある施設へ ・市民：安全・健康・楽しみを提供し、学びにつなげる。 ・北九州市：健康寿命延伸、教育充実、若者定着、地域活性化。 ・運営者：人材育成、学生への現場教育、地域貢献。	（１） 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 ・市民コミュニティの拠点としての運営管理 ・施設機能や市民の利便性の向上、市民のスポーツ振興健康増進 ・快適性・利便性を追求したサービス品質の向上 ・安全面衛生面を最重視したプール運営
		（２） 安定的な人的基盤や財政基盤 当事業体は、代表団体の株式会社スピナと構成団体のシンコースポーツ九州株式会社からなる共同事業体です。両社は「桃園公園・城山スポーツ施設」の指定管理者として約 6 年間の実績があり、良好な関係性を築いています。 【(代表団体)株式会社スピナ】創業 72 年の地元企業で、市内で 3 件の指定管理者実績を持ち、社内に建物維持管理の専門部門を有しています。また、西鉄グループの 100%出資会社として、不動産事業を中核に長年にわたる黒字経営を継続しており、安定した収益基盤があります。 【(構成団体)シンコースポーツ九州株式会社】公共スポーツ施設管理の専門企業として、九州エリアでトップクラスの 61 施設の実績を持ち、プール施設管理や学校水泳授業に関する専門知識が豊富です。設立以来 14 年間で黒字経営を維持しており、自己資本比率や利益剰余金が優良企業の基準を満たしています。	（２） 安定的な人的基盤や財政基盤 ■人的基盤：公共施設運営に精通した経験者を所長に配置／指定管理業務や施設維持管理に実績ある人材を確保／教員免許保持者、医療資格者(医師・柔整師・看護師等)、救命士、スポーツトレーナー、弁護士・社労士・税理士まで幅広い有資格者を保有／消防・警察 OB、大学教授、行政職員など幅広いネットワーク／学生や若手人材も積極的に活用し、教育と地域雇用の場を創出 ■財政基盤：共同企業体はともに安定した経営基盤を持ち、毎年堅調な経常利益を計上。持続可能な財政基盤を保有。	（２） 安定的な人的基盤や財政基盤 ・平成21年 4 月からの 15 年間北九州市思永プール PFI 事業、令和 24 年 4 月から1年6ヶ月の業務委託を経験した、経験豊富な職員を継続雇用します。また、西日本スイミングクラブグループ、北九州市内3校、春日市1校、宮崎市2校の経験豊富な職員のバックアップ体制を構築し安心安全な管理をします。
		（３） 実績や経験など 当事業体は、北九州市内のスポーツ施設で複数の指定管理者実績を有しています。特に、両社が共同で管理する北九州市桃園市民プールは、本事業と類似した運営体制であり、近隣中学校の水泳授業受け入れ実績もあります。構成団体は、九州エリアでプール施設 12 件の管理実績があり、福岡県内の小学校の水泳授業受託実績も豊富です。これらの経験と専門性を活かし、安全管理と利用者サービス向上に貢献します。	（３） 実績や経験など ■プール管理の確かな評価と実績あり(他施設／市内)。 ■学校兼用の市民プール運営の経験(他施設／市内)。 ■公共施設(体育館・スポーツ施設・文化施設)の豊富な実績。 ■専門企業との強力なネットワークによる補完体制。	（３） 実績や経験など ・平成21年 4 月からの 15 年間北九州市思永プール PFI 事業、運営業務、施設管理担当を行ってまいりました。 ・平成 21 年度から中学校水泳授業、平成29年度から西小倉小学校水泳授業補助業務、令和7年度から、日明小学校・到津小学校水泳授業補助業務を行っています。
2 管理運営計画の適確性	【有効性】に関する取組み	（１） 施設の設置目的の達成に向けた取り組み 施設の役割遂行、公平・平等な施設運営、安全・安心な施設管理など 8 つの基本方針を定め、設定したアクションプランに基づき管理運営を行います。一例として、8 つの基本方針①施設役割の達成に記載しているアクションプランは、学校水泳授業の安定開催(管理不足による休講 0)と、市民向けサービスとして年間利用者数 30,000 人以上を目標として掲げております。	（１） 施設の設置目的の達成に向けた取り組み ■5つの視点とアクションプラン ①ZERO-100 プロジェクトの展開：乳幼児から高齢者、障がい者まで多様なプログラム。 ②エンタメ性の高い市民プール：コミュニケーションと賑わいを創出。 ③若手が活躍できる場：地域で働き続ける人材を育成し、若者定着に貢献。 ④チャレンジの場：新規プログラムや地域活動を試みる「実験的フィールド」として機能。 ⑤維持管理のポテンシャル向上：予防保全重視、安全安心の徹底、ICT 活用による情報共有。	（１） 施設の設置目的の達成に向けた取り組み ・市民のスポーツ振興、健康増進一般開放の充実 ・近隣の小中学校水泳授業利用の拡大、学校利用時の指導補助業務。 ・西小倉市民センター等との施設連携による施設利用の効率化を図る ・自主事業及び市民の利用拡大を行うための広告を年 4 回ほど行う。
		（２） 利用者の満足度 利用者満足度向上のため、アンケート集計アプリ「Forms」やご意見箱の設置を通じて、多角的に意見を収集します。収集した意見は毎月「運営ミーティング」で協議し、迅速に対応する仕組みを構築します。指定管理期間5 年間で、施設利用満足度と職員対応満足度を 80%から 85%に向上させることを目標とします。	（２） 利用者の満足度 ■利用者が「安全・安心・快適」に過ごせる環境を整備することを重視。 ■老朽化は避けられないが、「古い」と「汚い」は別物 → 清潔さ・快適性を徹底。 ■「また来たい」と思える施設体験を提供し、リピーターを増加。→快適な施設環境づくり、エンタメ性・イベントによる楽しさの提供、サービスの質向上	（２） 利用者の満足度 ・一般開放業務時の利用時の満足度は高い数値を維持していると思われるので、新たな満足度向上の取り組みを行います。 ・アンケートでの意見、窓口での苦情に関しては集約し改善できる事案は職員に対して周知を行いより一層利用者に対しての利便性をよくする。 ・利用に対しての情報提供は、館内掲示物及び出入口に掲示。北九州市ホームページで行う

		（１） 指定管理料及び収入 業務効率化を図るため、券売機の導入やマルチジョブシステム化を推進し、人件費を削減します。削減できたコストは従業員教育や利用者サービスに充当します。自主事業（水泳教室、物品販売など）の収益は、指定管理業務の費用に全額還元し、安定した運営に繋がります。	（１） 指定管理料及び収入 ■指定管理料を効率的に活用しつつ、施設価値の向上と利用者増を目指す。 ■公共サービスとしての安定運営を最優先にしながら、自主事業収入を拡大して市の財政負担軽減にもつなげる。 ■自主事業により利用者満足度・集客力を高め、結果として指定管理料依存度を低下させる。	（１） 指定管理料及び収入 ・経費削減を行います。 ・自主事業収入・小中学校指導補助業務の充実拡大。
2 管理運営計画の適確性	【効率性】に関する取組み	【提案額】 令和8年度 88,778千円 令和9年度 88,778千円 令和10年度 88,778千円 令和11年度 88,778千円 令和12年度 88,778千円	【提案額】 令和8年度 88,778千円 令和9年度 88,778千円 令和10年度 88,778千円 令和11年度 88,778千円 令和12年度 88,778千円	【提案額】 令和8年度 88,496千円 令和9年度 88,388千円 令和10年度 88,339千円 令和11年度 88,339千円 令和12年度 88,339千円
		（２） 収支計画の妥当性及び実現可能性 5 年間平均の事業費は年間約 91,900 千円で、維持管理費と人件費が約 80％を占めます。自主事業からの利益還元分は約 3,100 千円を見込んでおり、指定管理料の満額と合わせて経費を補填する計画です。再委託を最小限に抑え、自社施工管理や自主修繕を推進することで、コスト削減とサービス品質の維持を図ります。	（２） 収支計画の妥当性及び実現可能性 ■指定管理料を基盤としながら、自主事業による収益を積極的に拡大。 ■安全・安心な施設運営を優先しつつ、コスト効率を高めて持続可能な運営を実現。 ■「確実に達成可能な計画値」を設定し、赤字リスクを徹底回避。 ■収支の見込みに無理がなく、既存実績と専門体制で裏付けられており、実現性が高い。	（２） 収支計画の妥当性及び実現可能性 ・収支計画はこれまでの 15 年間の北九州市立思永中学校 PFI 事業の運営業務、施設管理の経験を基に経費削減を行います。
	【適正性】に関する取組み	（１） 管理運営体制など 代表団体が施設維持管理業務全般を、構成団体がプール運営管理業務全般を担当し、役割と責任を明確に分担します。責任者、副責任者、プール責任者など、有資格者を含む適正な人員配置を行い、有事の際にも迅速に対応できる体制を構築します。	（１） 管理運営体制など ■教育機関＋NPO＋専門企業の連携による、唯一無二の管理体制。 ■公平性・透明性を担保する第三者委員会（アドバイザリー委員会）を設置。	（１） 管理運営体制など ・北九州市立思永中学校 PFI 事業 15 年間の運営業務、施設管理、また、施設運営業務委託 1 年 6 ヶ月に関わってきたスタッフを継続採用し、知識体験を活かし要望・クレーム等の対応を行い運営を行います。職員には、日本赤十字社水上安全法指導員、日本赤十字社水上安全法救助員、日本赤十字社救助法救急員、資格を有する。1 年に 1 回救助員、救急員の講習実技を受ける。
		（２） 平等利用、安全対策、危機管理体制など 【平等利用】条例に基づき、個人の信条、性別、年齢などに関わらず、公平・公正な施設運営を行います。【安全対策】独自の「プール管理運営マニュアル」を整備し、プール特有の事故リスクに備えた訓練を実施します。監視員は「CTPS システム」を運用し、利用状況に応じた配置で効率的な監視体制を構築します。【金銭管理】券売機の導入や金銭に関わる部分への防犯カメラ設置など、コンプライアンスを徹底します。	（２） 平等利用、安全対策、危機管理体制など ■平等利用：市民が誰でも安心して利用できる多様性を尊重した環境づくり。 ■安全対策：有資格者による監視＋研修＋予防保全、各種マニュアルの整備。 ■危機管理：マニュアル整備・法令順守・情報共有・訓練・研修実施。	（２） 平等利用、安全対策、危機管理体制など ・個人情報保護の重要性を職員に理解させ、漏えい、紛失が起きないように体制をとります。 ・高齢者、障がい者、幼児を含む全利用者に対して公平かつ安心安全に利用できるように接客指導を行います ・事故後の対応、事故の未然防止に努め、安全管理マニュアル整備と有資格者との連携訓練を行います。 ・利用者対しての盗撮行為を防止対策として職員に防止対策を徹底させる。 ・自然災害、犯罪等の防止のため、警備会社への夜間、休館日の連携
		（３） 地域貢献・社会貢献 北九州市内に本社を置く地元企業として、清掃美化活動や地元スポーツチームの応援など、地域に根差した活動に積極的に取り組みます。また、障がい者や高齢者の雇用促進にも努め、SDGs の理念普及にも貢献します。	（３） 地域貢献・社会貢献 「教育・健康・地域活性・安全・連携」を軸に信頼される施設運営などを通じて、思永中温プールを「地域の交流拠点として健康と人材を育み、安心・信頼のある公共施設として地域及び社会に貢献する。	（３） 地域貢献・社会貢献 ・高齢者、障がい者でも活躍できる場を設けます。 ・職員に対しては月 1 回のミーティングでの意見・希望を集約し労働環境を改善します。 ・近隣の西小倉市民センター等との施設連携によって施設利用の効率化を図ります。 ・建物設備点検・保守点検・修繕等は地元事業と連携します。 ・利用者に対して利用案内作成、施設利用ルールを作成する ・SDGs北九州市基本構想に対応する構築する